

地区版タイムラインが完成しました

H29.12.13

～第4回地区版タイムライン検討会を開催～

～紀南河川国道事務所～

熊野川減災協議会では、協議会取組方針の一つである「自主防災意識の向上」に向けて、「地区版タイムライン」の作成を進めてきました。

熊野川支川相野谷川(おのだにがわ)周辺の紀宝町鮎田(ふなだ)地区の関係住民が集まり、8月から議論を重ねて来ました。10月には台風第21号による浸水被害が発生し、避難計画の見直しを行い、11月には地区を歩いて実施の浸水状況を確認し、今回の第4回検討会で地区版タイムラインを定めました。

今後、地区版タイムラインの実践を踏まえて次年度以降、見直しを行います。

■日 時:平成29年12月13日(水)18:30～20:00

■場 所:鮎田構造改善センター

■参加者:紀宝町鮎田地区住民等(10名) 主催:鮎田地区
〈自主防災会、自治会、消防団、民生委員、児童福祉施設〉
紀宝町、紀南河川国道事務所



これまでの経緯



決定事項と今後の課題

- ・タイムラインの完成で終わるものではなく、**実践し、常に見直しを行う。**
 - ・降雨予測、降雨量、上流ダムからの放流量、熊野川本川水位、相野谷川水位と様々な情報によって避難判断を行う事になる。**情報入手と伝達手段を確実にできるような改善を進める。**
 - ・読んで理解するものでなく、**一目で避難行動に結びつくような工夫を続ける。**
 - ・逃げる事をためらう住民も多い。改めて個別に説明し、避難の重要性を理解してもらう必要がある。
- ➡ 今回策定した地区版タイムラインを実践し、次年度以降、更に改善を図ります。

【問合せ】国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査課
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142 TEL 0739-22-4564(代表)

水防災意識社会
再構築ビジョン

